

# 令和6年度 数理解析

## 複素関数 1

機械電気工学科 前期開講科目

担当教員：原田 敦史

## 複素数

### (1) 複素数と複素平面

#### ○ 複素数の基礎と四則計算

虚数：2乗すると負になる数

**複素数**：  $x + jy$

**虚数単位**：  $j^2 = -1$

※ 虚数単位を  $i$  と表すこともある。

複素数  $z = x + jy$  について、複素数  $z$  の  $x$  を **実部**、 $y$  を **虚部** という

記号による表し方

**Re(z)** → 実部, **Im(z)** → 虚部

複素数  $z = x + jy$  の  $y \neq 0$  のとき **虚数**、 $x=0$ 、 $y \neq 0$  のとき **純虚数** と呼ぶ。

**例題1**：  $z=5+3j$  の実部と虚部を答えなさい。

$$\text{Re}(z) = 5$$

$$\text{Im}(z) = 3$$

**例題2**：  $z_1=6+3j$ 、 $z_2=5+j$  の和、差、積、商の計算を行いなさい。

$$(1) z_1 + z_2 = (6 + 3j) + (5 + j) = (6 + 5) + j(3 + 1) = 11 + 4j$$

$$(2) z_1 - z_2 = (6 + 3j) - (5 + j) = (6 - 5) + j(3 - 1) = 1 + 2j$$

$$(3) z_1 z_2 = (6 + 3j)(5 + j) = 30 + 6j + 15j + 3j^2 = 30 + 21j - 3 = 27 + 21j$$

$$(4) \frac{z_1}{z_2} = \frac{(6 + 3j)}{(5 + j)} = \frac{(6 + 3j)}{(5 + j)} \times \frac{(5 - j)}{(5 - j)} = \frac{(6 + 3j)(5 - j)}{5^2 - j^2}$$
$$= \frac{30 - 6j + 15j - 3j^2}{25 - (-1)} = \frac{30 - 6j + 15j - 3 \times (-1)}{26} = \frac{33 + 9j}{26}$$

### ○ 共役複素数

複素数  $z = x + jy$  に対して，虚部の符号を反転させたものを **共役複素数** と呼ぶ

$$\bar{z} = \overline{x + jy} = x - jy$$

共役複素数の性質 複素数  $z = x_1 + jy_1$ ，  $w = x_2 + jy_2$  に関して，以下の式が成り立つ

性質1 :  $\overline{\bar{z}} = z$

性質2 :  $\overline{z \pm w} = \bar{z} \pm \bar{w}$  (複合同順)

性質3 :  $\overline{zw} = \bar{z}\bar{w}$

性質4 :  $\overline{\left(\frac{z}{w}\right)} = \frac{\bar{z}}{\bar{w}}$

性質5 :  $\operatorname{Re}(z) = \frac{z + \bar{z}}{2}$

性質6 :  $\operatorname{Im}(z) = \frac{z - \bar{z}}{2i}$

**例題3** :  $z=6+3j$ ,  $w=5-j$ のとき, 次の計算を行いなさい。

$$(1) \frac{z + \bar{z}}{2} = \frac{(6+3j) + (6-3j)}{2} = \frac{(6+6) + j(3-3)}{2} = \frac{12 + 0 \times j}{2} = 6$$

※ 性質5を用いれば, 計算をしなくても求めることができる。

$$(2) z\bar{z} = (6+3j)(6-3j) = 6^2 - (3j)^2 = 36 - 9 \times (-1) = 45$$

$$(3) \overline{z+w} = \bar{z} + \bar{w} = \overline{(6+3j)} + \overline{(5-j)} = (6-3j) + (5+j) = 11 - 2j$$

$$(4) \overline{\left(\frac{z}{w}\right)} = \frac{\bar{z}}{\bar{w}} = \frac{\overline{(6+3j)}}{\overline{(5-j)}} = \frac{(6-3j)}{(5+j)} = \frac{(6-3j)}{(5+j)} \times \frac{(5-j)}{(5-j)}$$

$$= \frac{(6-3j)(5-j)}{25-j^2} = \frac{30-6j-15j+3j^2}{25-(-1)} = \frac{27-21j}{26}$$

## ○ 複素平面

平面上の $x_1, y_1$ は実数とするとき、

座標平面上の点 $(x_1, y_1)$ が複素数 $z=x_1+jy_1$ に対応する平面のことを複素平面(またはガウス平面)と呼ぶ

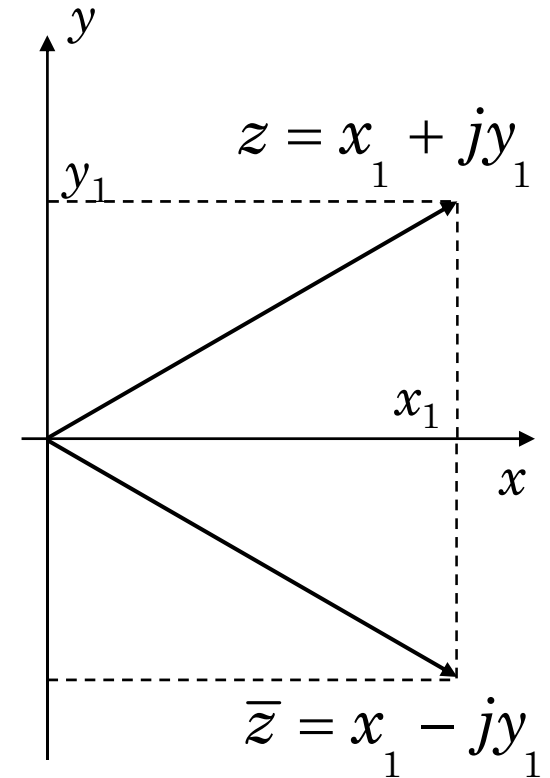
- 複素平面の軸の名称

複素平面の $x$ 軸上の点 $(x_1, 0)$ は実数 $x_1$ を表す → **実軸**

∥  $y$ 軸上の点 $(0, y_1)$ は純虚数 $jy_1$ を表す → **虚軸**

- 共役複素数の複素平面上的表し方

共役複素数は $x$ 軸(実軸)に関して、対称な点になる。



## ○ 複素数の絶対値

複素数 $z$ に対して、複素平面上の原点 $O$ と点 $z$ の距離 → 複素数 $z$ の**絶対値**

### 複素数の絶対値

- 表記方法： $|z|$
- 計算方法： $|z| = |x + jy| = \sqrt{x^2 + y^2}$

**例題4**：次の複素数 $z$ の絶対値を求めなさい。

(1)  $z = \sqrt{5} - 4j$       (2)  $z = 5$       (3)  $z = -3j$

**[模範解答]**

$$(1) |z| = |\sqrt{5} - 4j| = |\sqrt{5} + j \times (-4)| = \sqrt{(\sqrt{5})^2 + (-4)^2} = \sqrt{5 + 16} = \sqrt{21}$$

$$(2) |z| = |5 + 0j| = \sqrt{5^2 + 0^2} = 5$$

$$(3) |z| = |0 - 3j| = |0 + j \times (-3)| = \sqrt{0^2 + (-3)^2} = 3$$